



人口と世帯  
1月1日現在(前月比)

人口 / 50,025 (+17) 男 / 24,762 (+7) 女 / 25,263 (+10) 世帯数 / 18,076 (+31)

町ホームページ・携帯電話版アドレス  
http://www.town.oamishirasato.chiba.jp/



## 増え続けるごみの排出量 1人あたりの経費は12,422円

リサイクルできるものは「燃えるごみ専用袋」に入れないで

**捨てる前にちょっと待って！**  
**「ごみ」ですか？「資源」ですか？**  
毎日、何気なく出している「ごみ」。その量や処理費用について考えたことがありますか？もう一度ごみを処理する前に、「ごみ」なのか、「資源」なのかを考えてみましょう。

平成16年度のごみ排出量は、1万6,483トンでした。これは、町民1人あたり約331キログラム(1日あたり907グラム)を排出したことになります。前年度と比較して約2キログラムの増加となります。

また、このごみ処理にかかった経費は、6億1,876万5千円。1人あたりに換算すると、1万2,422円かかったことになり、前年度と比較して301円の増加となります。

一人ひとりの心掛けがなければ、このごみ処理にかかった経費は、6億1,876万5千円。1人あたりに換算すると、1万2,422円かかったことになり、前年度と比較して301円の増加となります。

### 「捨てればごみ、生かせば資源」 みんなでリサイクル運動を進めよう

町では、ごみの減量に効果のあるリサイクル運動を進めています。この運動を行っている団体には、回収量に応じて奨励金を交付します。

#### 集団回収のメリット

- ・自主的に運動を行うことで、一人ひとりのリサイクル意識が高まります。
- ・互いに協力して資源の回収を行うので、地域でのコミュニケーションが深まります。
- ・回収日や回収場所など、団体の実情に合わせて行うことができます。
- ・団体ごとに資源を集めるので、分別が行き届き、質の高い資源が大量に集まります。
- ・奨励金を団体の行事や運営に活用できます。

#### 奨励金

- ▶対象品目 = 新聞、雑誌、ダンボール、紙バック、古着・古布、アルミ缶、ビン類(ケース含む)
- ▶奨励金額 = 回収量 1kgあたり5円(アルミ缶は10円)

#### さあ、集団回収を始めよう

団体をつくる  
本町在住の方々(おおむね10世帯以上)

で回収を行う団体をつくり、団体の名称や代表者、会計係などの役割分担を決めます。回収する品目を選び、決定します。回収業者を決めて相談

回収業者を決めて、日時や手順・場所・詳細な分別方法など、打ち合わせをします。団体の実情にあった回収方法を相談しましょう。

いよいよ実施です  
集団回収は地域の方々へのPRが重要です。資源回収の呼びかけをして、多くの資源を集めましょう。実施日に業者による回収が行われます。

回収した後は  
奨励金交付申請書、請求書(代表者と口座名義人が異なる場合は委任状が必要)と回収業者から受け取った計量証明書(売渡票)を併せて町に提出します。

奨励金が振り込まれます  
請求書に指定した銀行口座に奨励金が振り込まれます。

#### 平成16年度実績

- ▶参加団体・延べ数 = 33団体・延べ209回
- ▶資源回収総重量 = 758,282kg
- ▶奨励金交付額 = 3,285,685円

**ポイント1 生ごみの減量**  
生ごみはその約80%が水分です。十分に水切りをしましょう。

れば、ごみの減量を進めることができず、今後大量のごみが排出されると、その処理経費も年々増加していくこととなります。

#### ポイント2 買い物の工夫



生ごみは水をよく切って

過剰な包装や使い捨て品、レジ袋の使用を控えましょう。  
詰め替え商品やリサイクル製品を使用し、無駄なものや、すぐごみになるものは、買わないようにしましょう。

しょう。  
生ごみはたい肥化して再利用できます。町の生ごみたい肥化装置設置補助金制度を活用しましょう。

申・同生活環境課衛生係  
☎(70)03386



さまざまなリサイクルマーク

**ポイント3 資源ごみの分け方・出し方**  
一般ごみの中に資源ごみが混ざらないようにしましょう。リサイクルマークの確認を。  
新聞、雑誌、ダンボールなどは、町のリサイクル倉庫や資源再生利用促進事業を活用しましょう。

### 平成16年度収集形態別の環境クリーンセンター搬入状況

(単位: kg)

	町直接搬入	委託業者による収集搬入	事業系搬入	個人直接搬入	合計	前年度合計
可燃ごみ	83,000	13,102,220	1,625,640	28,840	14,839,700	14,653,370
粗大ごみ	22,240	124,590	1,690	163,500	312,020	281,480
金属類	720	217,950	0	80	218,750	225,930
ビン・ガラス類	1,840	597,810	0	480	600,130	638,620
カン	2,730	329,650	0	20	332,400	312,810
蛍光灯類	6,560	7,200	0	0	13,760	14,720
ペットボトル	40	166,250	0	40	166,330	144,450
合計	117,130	14,545,670	1,627,330	192,960	16,483,090	16,271,380

事業系搬入は、可燃系ごみのみ

### ごみ処理に係る経費

	平成14年度	平成15年度	平成16年度
ごみ処理経費	589,128,188円	599,683,594円	618,765,392円
ごみ排出量	15,418,940kg	16,271,380kg	16,483,090kg
ごみ1kgあたりの経費	38.21円	36.86円	37.54円
人口(10月1日現在)	49,031人	49,476人	49,814人
1人あたりの排出量	314.5kg	328.9kg	330.9kg
1人1日あたりの排出量	862g	901g	907g
1人あたりの経費	12,015円	12,121円	12,422円

リサイクル倉庫および資源再生利用促進事業分は除く